

第4回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事要録

1 日時 平成27年3月9日(月) 18時30分から20時00分

2 場所 北広島市役所第3庁舎3階 会議室

3 出席状況

NO	氏名	職業等	出欠
1	上原康雄	北広島市観光協会会長、北広島商工会会長	欠
2	山崎悦子	北広島商工会会員(行政書士山崎法務事務所)	出
3	千葉隆一	札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース支配人	欠
4	石塚正敏	札幌北広島クラッセホテル支配人	欠
5	(副座長)川口満久	ホクレン農業協同組合連合会北広島事務所所長	出
6	中村哲	三井アウトレットパーク札幌北広島所長	出
7	(座長)吉岡宏高	札幌国際大学観光学部国際観光学科教授	出
8	三浦麻衣	市民(会社員)	欠
9	善甫啓太	市民(会社員)	出
10	吉田智樹	北広島市経済部商業労働課課長	出

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所属	役職	氏名
経済部商業労働課	主査	山田基
	主事	清水愛里

傍聴者

人数
1人

4 議事録

1. 開会

事務局) お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。第4回北広島市都市型観光推進協議会を開催させて頂きたいと思います。

座長) 皆さん今晚は。前は新年早々ということで、もう1度ワークショップ形式でやりましたが、色々なお話が出てきました。ただ、それを系統別に意見が出ているわけではなく、あっちいたりこっちいたり、色々な立場で色々な意見が出てきました。今回事務局にお願いしたのは、一度束ねてみたらどうだろうか。皆さんのご意見はひとまず出てきたと思うので、それを束ねて、それを元にまた、こういうところを忘れていないかとか、こんなこと言っていないとか、あるいは、これとこれがあるのなら、これができるんじゃないかとか、そのようなことを1回集約させてみようと思います。今回は、これからの行政の役割って、今まで国から言われたことをそのまま実施しておりました。これからの行政の役割は、皆さんが言ったのを分かりましたといって一度引き受けて、それで皆さんが意見はこういうことですよ、とまとめる能力が非常に大事なんじゃないか。という話を役場の3人にはしたのですが、皆さん一度みなさんなりに出てきた意見を踏まえて、皆さん、こういうことですよっていうものを作ってみたら良いのではないかと今回お願いしました。

その資料について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

2. 議事

事務局) 資料説明

・資料説明

北広島市がめざす都市型観光

- 1 なんでもできる北広島
- 2 いつでも行きたい北広島
- 3 どこでも行ける北広島

市が考えている方向性について、資料を参考にして説明。

座長) それでは具体的に「なんでもできる北広島」って、どういう話から発想したのかっていうところが。こうやって、ポンポンポンって出てきても、なかなかイメージが難しい。

バックデータがあるのなら出してもらった方が良いでしょう。どういう発想のプロセスで出てきたのでしょうか。

吉田) みなさんのご意見の中で、北広島市からイメージするものとして、お買い物であったり、体験施設であったり、ひとつひとつが観光以外のものを含めて色々あるというところが、一つございました。そういった意味で北広島市に行けば、食も含めて、宿泊施設も含めて、買い物も含めて、なんでも楽し

めるのではないかと考えています。

例えば、例えば「ハブハブ北広島」、これは北広島市に行けば「どこでも行ける」に繋がってくる。それから「リアル情報発信パーク」っていうことなんかは「なんでも出来る」っていうところにも繋がってくると思います。そういった情報をしっかりと提供していく必要がある。「よくばりリゾート北広島」は、ある意味「なんでもできる」に分けられるのではないかと。「スポーツ（選手）の住む町北広島」っていうのは、これもどちらかというところ「なんでもできる」に入ってくるのかなと。

スポーツ選手もいてスポーツ指導も受けられるよっていうように繋がっていったりもしますし、この様に議事を仕分けしていきますと「なんでもできる」「いつでも行きたい」「どこでも行ける」に分かれていくのかなと思っております。

特に「なんでもできる」については、体験、遊ぶ、買い物これは北広島でなんでもできるというのがありますし、「いつでも行きたい」っていうのは、何となく北広島っていうか、何となく北広島に行っちゃおうかという。例えばエルフィンパークで自転車を借りて、サイクリングなんか楽しめたり、それからバスに乗って買い物にも行けたり。ぷらっと、ふらふらっと行きたくなる町って言うのも、これも一つの観光になってくると思います。

「どこへでも行ける北広島」は、アクセスのよさを生かして、どこへでもここから行けますということと、もう一つは、人のフンドシで相撲を取るっていう。北広島にない魅力を北広島に来てどこへでも行って楽しんで、また北広島に帰ってくる。これは子どもから高齢者まで色々な楽しみ方がこの3つのキーワードの中で、ファミリーで北広島に行けば、1日皆それぞれの楽しみ方で北広島を楽しんで、そして北広島駅に集まり家路に帰る。皆さん方からの話を聞いていても、このようなところが多いのかなと思っております。

座長) 皆さんどうでしょう。一応行政なりのまとめをしてくれました。前のほうは前回の復習みたいなもので、もう1度こういう中でやっている。今回は一番最後の資料だけが新しいものとなっています。さらに言うと、この3行だけが新しい項目ということですね。

○委員からの意見

- 私は道外からこちらに移り住んだものです。まず、北海道に入ってきたのが千歳でした。千歳に住んでいて、当時北広島にハイパーマートがありました。そして千歳では、千歳デパートが廃れて、今のイオンが残っていた程度でしたから、北広島まで行けば何でも買える、欲しいものが手に入るということで、北広島までよく車で買い物に来ていました。そのついでに国道274号のアイスの家に立寄ってアイスを食べ、長沼の方を回って千歳に帰るという、一つの週末のドライブコースでありました。それで北広島に一軒家を構えようと思ったのは、「なんでもできる」っていうのは漠然としているのですが、ここに住めば良い人生がおくることができると思いました。ここにいれば札幌にも行ける、空港にも近い。周辺の支笏湖あるいは長沼、帯広方面みんな道が繋がっているということで、交通の要衝であることが魅力に感じました。それでこの3つの項目は当たってはおりますが、ちょっと具体性に乏しいといいます。特に市外の方が見えられた時に、「なんでもできる」どんなことができるのかイメージできないと思います。「どこへでも行ける」

もイメージできない。これに肉付けしていく中で、具体的なものを入れていくのだと思うのですが、なんとなく当たっているように思います。ですがちょっと掴みどころがない。もうちょっとうまく言えないのかなっていう。私にアイデアがないので、申し訳ございません。良い方向には向かっているのではないかと感じております。

- 私も道外から来ている者なので、まちの魅力自体は感じています。それは、もともと備わっている観光資源であったり、まちの魅力づけとはもともと備わっているものと、あとは恐らく作り出すものがある。その作り出すところが、たぶん前回議論したところなのかなと思います。これはやはりもともと備わっているものをPRするというのもまちの魅力付けに繋がると思います。後は、今無いものというものを、作り出すのもたぶんお金が掛かってくることだと思うので、それでやはり両面をもう少しはっきりとわかる形、PRできる形にして、発信をしていけば十分伝わると思っています。後は一番良いのは夏が快適って言うのが本当に道外から来た人間にとっては、この上ない快適で、ここはもっと本当にまちの魅力だと思いますし、北海道の魅力だと思います。そこに大きなヒントがあるのかなと。ただ、もう1回読み返してみて、もう少し具体的に形になってくればPRできる要素は揃っているのかなと思いますので。あともう1歩かなっていう気がします。
- 原稿を送っていただいて前に拝見していましたが、せっかくこんなに出たのに、どこに行っちゃったんだろうかと思う。3つの内の、「いつでも行きたい」というのが良く分からない。ピンとこないって感じがしております。
- タイトルだけ3つ並んで、「なんでもできる」「いつでも行きたい」「どこでも行ける」って書いてありますが、それでは具体的に何？という、何でもできるけれども北広島でしかできないことって何かあるのかと思います。「いつでも行きたい」というのは、リピーターの人が感動してくれれば繋がっていきます。「どこへでもいける」は、ここをハブにして、どこへでもいけるってことで考えたと思いますが、イメージとして「どこでもいける北広島」というのは定住を考える人だったらわかるかも知れないけど、都市観光っていうイメージ、観光で来るというイメージになると、そこを拠点にしてアクセスの良さを売りにすることは、ありだとは思いますが、言葉だけで捉えると、どこに特徴があるのでしょうか？ということが分からない。これだけ見ると、その後色んな肉付けしてこういうこともできるよ、何回もリピートすると楽しいですよ。ここを拠点にするとどこでも行けますよっていうのが多分出てくると思います。このようなものをポスターとして作る場合、これを表題にする訳にはいかないと思いますが、何か一つドンとこういうものがあると分かりやすいかなと思います。

座長) 前々回からのお話を整理しますと、先ず前々回消防庁舎でやった時は、2つのグループに分かれて、一つは山田さん達のグループ、そして吉田さんの方のグループは清水さんが項目別に整理してくれて、手がかりがあることが確認できました。私の方のグループでは、色々あるのはわかったから、色々出ていました。個人旅行、やっぱり客さんが見える観光をしないとだめだよねと。その中でコンセプト

トをしっかりしないと、どこにでもあるようなものではダメで、例えばその時に出てきた星の話だとか、朝飯マラソンの話だとか、なんかその尖がったものがないと、勝負ができないのではないかと一点と、それと、実際プランを作ったとして誰が行うのか？これはもう大変な問題だと。

誰が行うのかということは置いて、まずは色んな素材があることは分かったし、今までみたいに、あるものを組み上げてやっていって、福笑いが変な福笑いみたいになっちゃって。それよりも自分たちはこういうことがオススメだとか、こういう資源を生かしたらこういったことができるぞとか、我々の意思としてあって、その下に何かのシステムを組み合わせていくべきじゃないかっていうのが去年の最終回で行ったことでした。だから、前回また年明けは時間も経過したこともあり、コンセプトベースで考えてみたら、どんなことが考えられるでしょうかっていうのが、前々回にやったやつです。ですから一番頭にコンセプトのシートっていうのがあり、それでどんなことができるか、それでどんな人を楽しんでもらえるだろうかという、一連のストーリーを作ってみました。そこではアイデアが沢山出てきました。これを素材にして、沢山のアイデアが出てきたので、散らかっているから少し整理しましょうよとお願いしたら、この3つになったと。なんか目黒の秋刀魚みたいな。秋刀魚食べたいって言ったら油抜き秋刀魚が出てきちゃったっていうみたいな感じですね。

これとこれはどう繋がる。今回出してきて欲しかったのは、議論の素材として、皆さんこういうこと言いましたよね、だけど私たちからみたらこれはちょっと全体の方針から違っているから、遠慮してもらいたい、だとかでも良いし。あるいは、これらは同じ様なこと言っているの、一緒にしてみた方が効果あるのではないかと。それを整理した上で、少し皆さんが意識を集中できるようなテーマとして、例えばこういう3つがあるのではないかと。

恐らくその時に議論のネタにしてもらおうためのものですから、例えば、こっちのチーム、ここでは町の中だけを巡らそうって意見があったし、ここではそんなこと諦めて、周りとだけやっていけば良いんじゃないかって。まったく相反する考え方ですよ、2つありましたと。で、どっちもありなのか、なしなのか議論したいわけですよ。例えば分け方の典型でいったら、相乗、代替、補完というものがあります。代替は、どっちかが代わりということで、コーヒーと紅茶の関係です。まちの中だけで回す、いやそうじゃなくてその代わり他にも回すなど。

補完は、コーヒーと砂糖、コーヒーを美味しくするためにこういう要素があったらさらに美味しくなるのではないかと。砂糖だけで舐める人はいません。コーヒーだけでも良いが、砂糖入れた方がもっと美味しい。クリープを入れたらもっと美味しい、これが補完です。

相乗っていうのはコーヒーとクッキーみたいな関係で、コーヒーだけでも美味しいし、クッキーだけでも美味しいけど、一緒に食べたらもっと美味しい。

例えばそういうのが出てきた意見の中から、こういうのとこういうのを相乗させたらもっとこんなコンセプトができるのではないかと。

皆さんがこれだけ整理してみたら、できましたよっていうことが話せたらなっていうのが今回の趣旨だったのです。行政の方は今までこういった最後非常に誰もが納得するような一言に集約しなきゃっていった強制観念っていうのがあります、内容がどこのまちでもリンクしちゃいます。

北広島市都市観光っていうのは、北広島らしさを考えたところを、もう少しやってこうじゃないかっていうのが、今までの話の積み上げとしてね、皆さんそうだよねと思ったところがあるので、そこをもう少しうまくまとめて欲しかったと思います。

本日はもう少しお付き合いいただいて、こういうことは忘れてはいけないのではないかとか、お互い違った色合いの話が出ていたね、というのを出してくれれば。

○委員からの意見

- 「リアル情報発信」ってところですが、今の職場の中では、何ができるのかってところの話をしたいたしましたが、私が意識しているのが地域。特に北広島市。札幌までいってしまうとどうしてもビジネスになってしまうので、北広島が地域に貢献するっていうところと、後は、北海道の観光資源についても MIX して PR していけばと思います。
館内に 3m くらいのフォトスポットを作りまして、ベタなものですが、顔を入れると記念写真が撮れるようなものを作りました。外国人とか観光客の方からも結構好評で、それを SNS で拡散してくれたりする人が結構増えてたりしております。商業とか民間企業ではありますが、北海道を PR するってことに対して、力を入れたいと思っております。
また、館内に 6 箇所デジタルサインを今回導入しました。イベント情報だとかを放映するっていうのも 1 つの目的ではありますが、やっぱり一番北海道の観光資源みたいところを、JAL とか ANA とかのイメージ画像とかあるじゃないですか、あのようなものを北広島とか地域の観光資源にスポットを当てて、そういうような形でメッセージを発信していくっていうのも 1 つの手段になるように思います。方針とか目的みたいところは、ある程度もう少し分かってくると具体的な手段、前回の議論でも出てきたと思いますので、これをどの様に中で落とし込み、分かりやすくして PR すると、相当変わっていくのではないかと思います。
- 輪厚のインターにハムベーコンのエーデルワイスファームがあります。うまく資源とかを活用し、人を呼んでいると思います。イベントとかやるとすごく人が集まっているようです。あの周辺自体で、観光資源を PR するだけじゃなくって、形にして物売ってそれを支持されるという連鎖が上手くいっている気がしています。実家の両親に送ったら喜ばれて、これはもう、このベーコンはこの辺じゃ食べられないって喜ばれているので、来た人とか消費者に伝わるような形にしていくのが、一つのヒントかなと。職場に帰ったときに、うまく発信して伝えるってところで、前回こういった提案しましたが、具体的にはっきり目の前に現物があるとか、見ればすぐ伝わるものとか。そういう形にしてくっていうのが大事になっていくのかなと思います。

座長) ありがとうございます。これから一回整理してもらった柱を立てる。柱がいくつ立って、全部が全部は恐らく難しいということになるので、それでは、この中でどれをメインにやろうかとか、或いは、この柱とこの柱って別じゃなくって一緒じゃないかとか、その柱なんかを例えば、そういう考えだったらもっとこんなことできるなど。例えばいただいた意見で、うまい情報発信の仕方があるのではないかと。私の頭の中に浮かんだのは、札幌は冷たいけど北広島暖かいよとか。札幌は年に 1 回オータムフェスタやっております。札幌国際芸術祭でも地元と付き合いありません。北広島はアウトレットに来れば、170 市町村の年間 2 日はビジョンつかわせてあげますと。北広島くらいだな。自分で PR ビデオ持ってきてくれれば 4 時間流してあげますと。かと言って言ったら、全部の市町村が毎年 2 日間自分のパフォーマンスをできますよね。そんな様なことやると、アウトレットとしても地域性が出てきて、今日は例えば羅臼の日だとか。北広島の住民も、元どこ出身っていうことで、そういう人がその日に集ま

るようなことになると、市民の結束力みたいな。今日は三笠の日、三笠出身の人集まれとか。例えば、そういう柱があって、そう言われたら俺だったらこうことができる、といった、切欠になるようなまとめ方をして欲しいなど。

それが整理されると、もっとふくらんでくるものが出て、今話していた中身が逆にこっちの方が良いというものも出てくると思います。5月5日とか人が沢山通過する時は、JRの沿線でね、列車と一緒に走って快速通る度に走ってみても、それも特色な訳です。朝ドラなどで、いまだにやっております。みんなフェリーが入ってくる時に。北広島なら15分に1回やれる。例えばそんなのを。前回でてきた話だったら札幌でもない千歳でもないっていったら、サイクリストね。サイクルのメンテから工場のお手伝いから何から全部そこでやってあげるからうちに寄って行って言う、うちにステイしてというのも、その発想だろうし。束ねていくことができるのではないかと

うまく整理してあげると、もっとこんなのあるぞ、これもいけるじゃないかっていうのが出てきて、その中で色々あるけど全部できないと。それではどこからやるべきかと。

広大な場所を生かして。これは北海道の冬を目がけてくる人たちは、海外のお客さんとかですから、案外そういうところに手がかりがあるのかもしれない。

事務局) 先日、クラッセのスキーパークに道外からの旅行会社さんが来たときに、北広島の宣伝を行ってきました。JTBのインド担当の方と話をすると、何にもいらないと。雪さえあれば良いと言っていました。しかも3月のこの時期のベチャベチャな雪ですけれども、これで十分と。インドでは300km離れたところにまで行かないと雪を見ることができないそうです。そして、台湾の方はベチャベチャな雪を頭に載せて写真を撮っていました。

座長) スノーエンジェル。雪の中に飛び込んだ形を10何年前からやってる話ですけど。それでは北広島らしさって何だろう。なかなか、やっぱり考えていかないと。

○委員からの意見

- ゴルフ場の冬場の活用ってことでいけば、その場所は北広島にあると思う。
- やってみなきゃわからないってゆうのもあるのかも知れないですけど。ただ1ha除雪などといったものかもしれないですね。
- 雪かきして喜んで帰る。

座長) 雪かき選手権みたいなものもありますね。だから、ちょっと北広島らしさっていうのに、どうつなげていくかっていうところが重要だと思います。この広さを使っていくのも、ちょっと考えられないだろうか。

後は、さっきの真ん中の「いつでも行きたい」というフレーズ。北海道の全部をどうだ、どうだと刺激が大きくて1回しかこないというパターンじゃないですか。100の刺激で1回しかこない。だけど北広島は、低周波治療みたいな、1回だとそうでもないが、100回続けると物凄い。そういうコンセプトになるなど。

○委員からの意見

- 札幌に住んでいる人も北広島は住みやすいまちだよって、住んだことがないのに言うのですよね。住んでみたらどうと聞くと、「北広島はちょっとね」という答えが返ってきます。ちょっとね、が何なのか、住んでいる私からは分からないのですけれども。札幌の方が良いっていうか、見栄なのか、札幌に住んでいるっていうのと北広島に住んでいるのは全然聞こえが違うという優越感のために札幌に住むと、厚別に住むと、厚別も札幌だと。それがはっきり見えてきて弱みを強みに変えるような、まさに何となく行きたくなる北広島、何となく住みやすそうな北広島、これを上手い具合に壺に入れてあげれば、本当に住んでくれるのではないかと思うのです。
- 北広島で今日はこれやったけど、次きた時はこれやろうということになるように思うように、一度来た時に分かるようになってないと思います。

座長) 切欠作りですよ。こんなことがあるんだ、次回ちょっと来てみようかな。それぞれの拠点が沢山あるってところの持ち味と。夫婦で来た時も、買い物に来るときにも分かってもらえる。北広島駅で降りた時にも思ってもらえる。くるの柱に来た時でも、そういうのが沢山あって、とっかかりがとしてそれが分かっている。という体制が今回来ている皆さん方でできてればと思います。

恐らく、皆さんが言ったことは、これとこれで柱ができますよってっていうのと、言ってはおりませんけど皆さんの話を聞いたら、私たちはこう思いましたなど。何も無いけど柱が立つというのも有りだと思いのです。広い所から見て、皆さんの話を聞いたら、それともう、ここにもう1つポイントがあるのではと。それも入れて、バックの発言がないから柱が立たないと思わないで、やっていくうちに、これってなんか、それぞれの要素を全部踏まえてみたら、こういうことって有り得るのではと。それはお互いに気づかない部分もあるだろうし。

○委員からの意見

- 3つだけ柱立てられると、これに集約しなければならぬので、だんだん狭くなってきて。もうちょっとあった方が良くないではないでしょうか。

座長) 何となくの感覚ですけど、経験からすると、こういう計画だとかビジョンを作った経験からいうと、最初のレベルでは5本とか8本とかそのくらいの中見出しがあって、こういうことが出てきました、バックな発想の原点みたいな。それを何個取り混ぜていこうか。そのうちに、多すぎるねって話になって絞っていこう。広がったり縮んだりしながら、形的にどれっていうのを、議論が尽きたところで、どこからやりますかというような。今の話だけでもすぐできそうなのがいくつか出てきそうですよね。

こういうのは、観光基本計画ではいかにも PDCA など流行的な部分があります。恐らく PDCA をやると間に合わなくなると言いますか、DO しながら ACT、DO しながら考え抜いて ACT していかないと。ある程度柱が立って焦点が絞られてきたら、まずはやってみよう。その中で、直すべきところは直したり、広げるところは広げたり。このように柱を考えていく。そのためには、皆がこれを面白そうだとか、ここにまず意識集中していこうという議論を通じて、そういう動きになってくるのが、まず北広島の都市型観光に結びつくと思います。

よく、積み木のように計画が作られますが、A4 の 4P くらいで良いのではないかと思います。これは守りましょうといった計画にした方が良いでしょう。大事なことだけ書く。国からこんな事業が下りてきたら、後付で理由つけて事業を行うのですから。自治体学の先生方からすると、法学部の政治学科の先生方からすると、これに書かれていないことは一切やってはいけないといった話になってしまう。

次回までには項目を整理いただき、議論する素材を作ってもらいたいと思います。その中で、当然皆さんの会議が一緒になってやって、その中で思いが出てきたことだとか、それはどうぞ入れてくださいと。

もう1度皆さんの意見も踏まえてですね、お手数ですが整理をしてもらいたいなど。柱を何本か、整理をしてもらいたいなど。宿題としては、色んなレベルの話がたくさんあって大変だと思いますが、うまく整理をお願いします。

3. 次回開催日

4月14日18:30

4. 閉会